

発行日 2005年7月1日
 発行：宮城県民間非営利活動プラザ
 編集：NPO 法人社の伝言板ゆるる
 〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
 TEL：022-256-0505
 FAX：022-256-0533
 E-mail：plaza@miyagi-npo.gr.jp
 http://www.miyagi-npo.gr.jp/

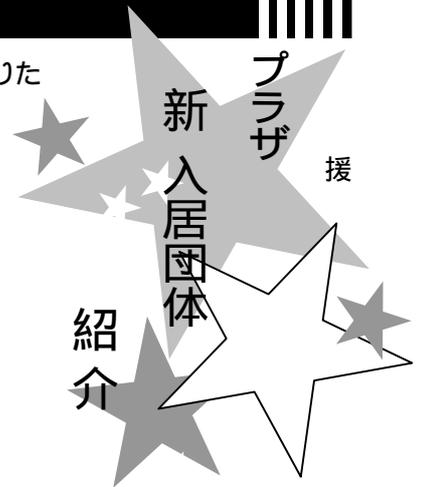
「One to One」は、県内各地でのさまざまな NPO 活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるよう願いを込めたニュースレターです。



||||| レストラン「ぴぁ」 7月5日(火)午前11時Open! |||||

「障がいのある人もない人も高齢者も、バリアの無い社会構築を実現させていきたい。知的障がいのある人が地域の中で、楽しく心豊かに暮らしていける社会をつくるために今できる精一杯のことをしよう！」障がいのある子の親として、子どもたちが地域社会の中で働き、生

きていく道筋づくりをやりたい・・・。そんな親心が障がいのある人の自立支の展開をめざし、NPO プラザでのレストラン事業へと踏み出しました。福祉ネットABCは、平成16年10月から任意団体福祉ネットSOMを設立し、主として知的障がい者の生活基盤を作るための仕事場の整備や障がい者の将来に向けての生活支援などを行い、市民に向かって知的障がい者の理解を図るための活動を続けてきました。平成17年4月に名称を福祉ネットABCに改称し、5月からNPO法人認証に向けて準備を進めています。



今回オープンするレストランぴぁの運営は、知的障がいのある方が3名、支援者2名、ボランティア3名、計8名のスタッフで担います。レストランでありながら知的障がい者の就業のインキュベートとして、また同じような悩みを抱えた人たちの相談やぴぁカウンセリング機能も備えた場としていくことをめざしています。

食事は、和食がメインで、身体にやさしい県産の食材を中心にした“懐かしいお袋の味”が楽しめるほ

か、会議や夜間のミーティングなどには、お弁当やパーティー用軽食の予約もできます。笑顔いっぱいのスタッフが迎えてくれます。どなたでも気軽にお立ち寄りください。

NPO プラザは、障がいのある人とない人の間にバリアをつくらない、また障がいのある人の社会参画を促す“場づくり”を応援しています。レストランぴぁは、7月5日(火)

11時開店です。皆様のご来店を心からお待ちしています。



六匹の蛙 = むかえる = (お客様を)迎える

みやぎNPOプラザ NPOルームへの新入居団体の紹介は中面をご覧ください。

堤友彦トーク&ライブ東北ツアー2005「一緒にあたり前」

主催：堤友彦トーク&ライブ東北ツアー2005 実行委員会

「イエーイ！どうでSHOW！」

ゴキゲンな声。湧き上がる拍手。満面の笑顔。

1歳の時の転落事故により左の脳を失い、「もう話せない、歩けない、全盲、知能もわからない」と宣告を受けた堤友彦さんは、現在27歳。視力と右手の感覚を失いながらも、6日間におよんだトーク&ライブ東北ツアーの主演を務めました。



堤恵子さん

最終日となった6月11日、「NPO結サロン」として企画したのは、障がい児も地域の学校で学ぶことを支援する「共育を考える会」を核にした障がい者支援の「黒川こころの応援団」不

登校など生きづらさを抱えた人を支援する「フリースクール煌」などで作った実行委員会。

東北でのツアーを開催するにあたって広島県からはるばる同行した堤友彦さんの母・堤恵子さんは、堤さんの事故から、小・中学校、高校と、障がい者の受け入れ体制のない地域社会への踏み込みと、その時々「壁」について、自らの経験を語りました。難しかったのは高校受験。当時制度としてなかった代筆受験を勝ち取り、3度目の受験で合格しました。

「障がい者の受け入れについて、制度ありきではない。まずは飛び込んで、環境を創っていかねばならない」と話し、「制度を変えるのは大変なこと、闘わなくてはいけない」という言葉は、息子である友彦さんだけではなく、同じ境遇にいた人たちの壁さえも壊したのでした。

堤さんは現在「楽器工房ムジカ」で音楽療法の助手をしながら、徳永宣英さんと「友彦&TOKU(どうでSHOW)」というユニットを結成し、ライブ活動をしています。

宮城県内5市町で開催された今回のツアーも、みやぎNPOプラザを最後に、キーボードにタンバリン、手話に拍手と笑い声、みんなの笑顔に包まれ、幕を閉じました。



みやぎNPOプラザ レターケース(私書箱) 使用団体募集中！

大きさ：A4サイズ・深さ7cm 利用料：無料 利用期間：平成18年3月31日まで
応募資格：営利を目的とせず、自発的に行う社会的・公益的な活動を行う団体であること。(法人格の有無不問)
申込方法：所定の利用申込書のご記入の上、みやぎNPOプラザ窓口まで



NPO法人ばざーる太白社会事業センター

<http://www.b-taihaku.net/index.htm>

「B-TSWC」と書いて、「ビートスイッチ」。カッコイイ愛称で親しまれるNPO法人ばざーる太白社会事業センターは、障がいのある方や高齢者・児童等が、分け隔てのない生活ができる環境づくりと、ともに社会参加をめざすための支援を目的に、今年の4月にNPO法人として生まれ変わりました。「今、何が求められているか」という、当事者のニーズから活動を始める姿勢を基本に、今年度からは、マイクロソフト社の支援を得ながら、障害を持ちながら地域で暮らす人たちをITを活用しながら支援・ネットワーク化する「宮城UPプログラム」もスタートする予定です。



ONE POINT

NPO ONE POINT

「損害保険について」

原稿協力：(社)日本損害保険協会東北支部
 日本損害保険協会 <http://www.sonpo.or.jp>

6月になり、野外プログラムの季節が近づくにつれ「(損害)保険」の相談が来始めました。

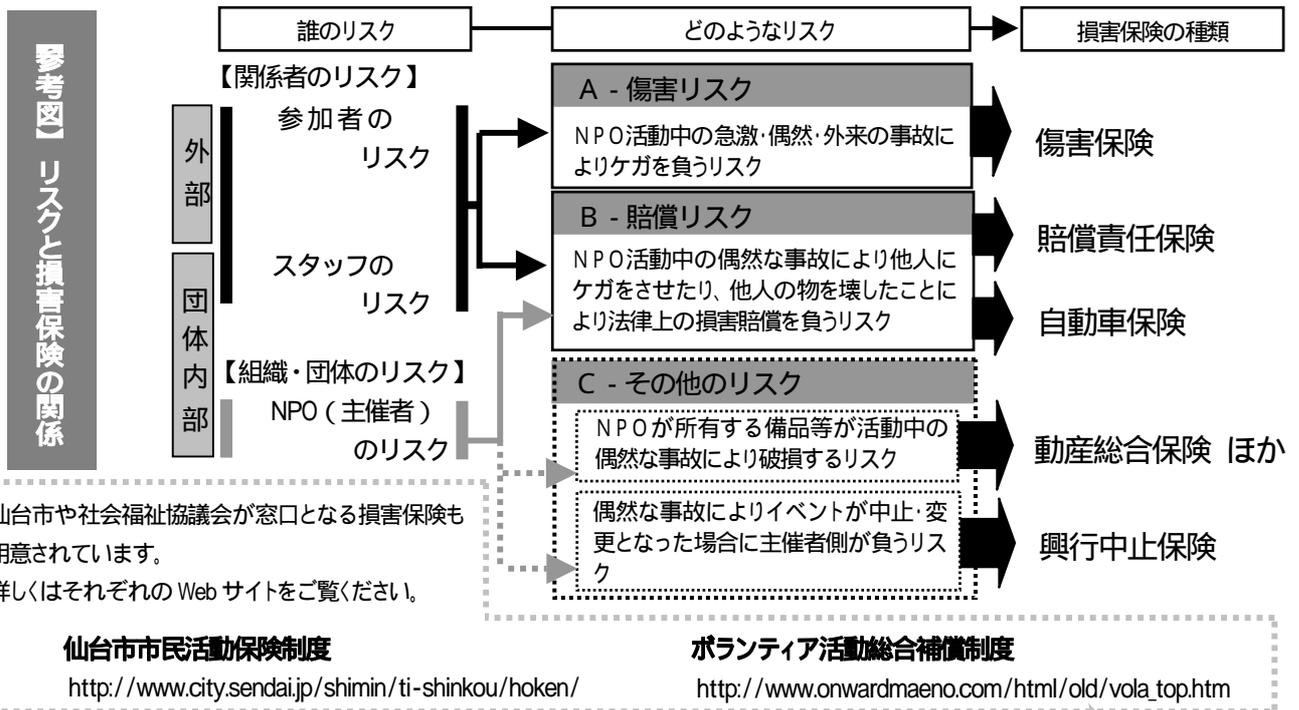
もともとNPOの活動には「損失が発生するかもしれない不確実な要素(=リスク)」が存在し、そのリスクは活動や団体によって異なります。そのためリスクの把握・対応は原則オリジナルとなり、対応策のひとつである保険も同様です。では、NPOが損害保険を契約しようとする際のポイントはどのような点なのでしょう。

それは、「(どのようなリスクを抱える)+(誰)」のための保険なのかを明らかにすることです。まず、「移動中に転んで怪我をするかも」「誤って借用物を破損するかも」といった活動中のリスクを、予定する活動から拾い出します。そして、それぞれのリスクを抱えるのが誰なのか、「関係者(参加者・スタッフ)のリスク」と、「NPO(主催者)のリスク」に分類します(下図参照)。

具体的な補償内容などは保険代理店と相談できますので、“どのようなリスクを抱える誰”のための保険なのかを、自分たちで確認してください。その作業は保険のためばかりでなく、活動を成功に導くためにも大切になります。

ご承知の通り、保険加入で活動のリスクを無くすことはできません。どれだけ素晴らしい活動でも、ひとたび事故が発生し、対応もままならないのでは“信用や共感”は瞬時に失われます。そのような危機を回避するためにも、リスクをスタッフ全員が共有し、「発生の予防」と「被害拡大の防止」に備えることが重要です。

生命の危険も起こり得る野外のプログラムでは、保険加入はもはや必須でしょう。活動を成果あるものにするためにも、保険加入と併せて、リスクの把握と共有を、ぜひ、お薦めしたいと思います。



NPO法人職人集団・住改善

障害のある方も高齢者も暮らしやすい住環境の改善と、豊かな高齢社会の実現をめざすNPO法人職人集団住改善。専門の知識と技術を持った有志で団体を立ち上げてから5年。住宅リフォーム事業、造園事業を中心に実績を重ねてきました。また、住宅改善に関する講演会や技術研修会の開催などに取り組む一方で、「とっておきの半日を社会のために」を合言葉にボランティア活動にも取り組み、専門家以外のボランティア・メンバーの参加も呼びかけています。



第2回 人材育成講座 ～責任あるNPO経営をめざして!～

6月15日(水)、第2回人材育成講座を開催しました。NPOのリーダーや運営スタッフ合わせて8名が参加しました。講師は社会保険労務士であり人材育成研究所所長の猪狩慎一氏。労働法の歴史から始まり、人を雇用するにあたっての基本的な法律・雇用する際の書面の書き方などを学びました。最後に猪狩氏は、「NPOを運営するにあたり委任契約・請負契約・ボラ

ンティアなど様々な形態が想定されますが、雇用契約の場合には様々な法規制や法的責任が発生します。安易に口約束をして無用のトラブルを招かないよう、どういう関わり方が組織にとって望ましいのか、ほんの少しだけ立ち止まってみることが肝要です。」と参加者にアドバイスをして講座は終了しました。草の根活動からスタートするNPOは、

いつしか有償ボランティアを募ったり、常勤スタッフを雇ったりと組織が大きくなっていくものです。今回はそのような団体にとっても役立つ講座となりました。参加者からは、「保険・雇用をNPOに当てはめて考えることができました。」「分かりやすかった。」と好評でした。ただ、「休憩が欲しかった。」という声もありましたので、次回からは配慮した時間配分で開催します。

次回講座ご案内

第3回人材育成講座「NPO・市民活動団体スタッフのためのコーチング基礎講座」

日時:7月14日(木) 18:00～21:00 場所:みやぎNPOプラザ 第一会議室

講師:後藤美香氏(日本コーチ協会 東北チャプター代表・財団法人 生涯学習開発財団 認定プロフェッショナルコーチ)

公募

県有施設借受団体の募集!

プロジェクトM2003 県有遊休施設等の有効利用によるNPOの拠点づくり事業

県が所有し、現在遊休(または遊休化する)施設をNPOの活動拠点として比較的安価に賃貸する事業を実施します。

問合せ先

宮城県環境生活部NPO活動促進室活動促進班

TEL:022-211-2522 (担当:高橋・小林)

<http://www.pref.miyagi.jp/npo-seisyou/purom17.htm>

名称	住所
宮城県民間非営利活動施設第4号(宮城野婦人寮)	仙台市青葉区上愛子字北原道上31-3
" 第5号(勾当台会館職員寮)	仙台市青葉区八幡二丁目15-25
" 第6号(白石高等学校校長宿舎)	白石市南町一丁目2-68

現地説明会日程

7月9日(土) 勾当台会館職員寮・宮城野婦人寮

7月10日(日) 白石高等学校校長宿舎

対象団体

宮城県内を主たる活動地域とし、「宮城県の民間非営利活動を促進するための条例」第2条第2項に規定する民間非営利活動団体。

【参加申込締切:7月8日(金)正午までに下記NPO活動促進室あてに申込み願います。】

新規のNPO法人認証団体 (5月17日～6月7日の期間)

アフタースクールぱるけ	仙台市太白区	障害児放課後ケア支援、児童デイサービス、障害者ホームヘルパー等
オハイエ・プロダクツ	仙台市青葉区	とっておきの音楽祭の支援、主に障害者がコンサート・イベント開催等
愛島地域包括支援センター	岩沼市	介護予防施設の提供
KH「宮城県「タオ」	加美郡加美町	不登校、引きこもり等の問題を抱える家族の支援等
いしのまき環境ネット	石巻市	植林活動・体験学習・EM環境改善事業等
もっこの里	登米市	産地形成促進施設の管理運営等
コスモスクラブ	仙台市宮城野区	障害児の遊び場をつくりケア等支援する事業等
東北グリーンアシスト協会	仙台市若林区	伐採木や刈草の堆肥化事業・環境保全啓発セミナー等
宮城福祉オンズネット「エール」	仙台市青葉区	障がい者、高齢者の権利擁護事業、福祉サービス第三者評価等

7月の催し

2日	土	NPO法人向け簿記編・実務セミナー(10:00～)	20日	水	らくらく会計講座
		主催:NPO法人経営体質改善サポート宮城 TEL:022-742-2858			「NPOの税務」
		不登校・引きこもり・ニート 「その対応とこころのケア」(13:30～)	22日	金	会計・労務・団体運営の お悩み無料相談会(13:00～)
		主催:学びのアカンパニー TEL:022-256-7977	24日	日	無料相談会(13:00～) 主催:宮城県マンション管理士会 TEL:022-218-2003
14日	木	人材育成講座 「NPO・市民活動団体スタッフのための 「コーチング基礎講座」(18:00～)	26日	火	NPO法人のための会計実務教室
			29日	金	主催:NPO法人 エス・ピー 仙台 TEL:022-263-0382
17日	日	ロボット教室 主催:NPO法人ロボテック TEL:022-773-3820			「」印の催事は、主催:宮城県(みやぎNPOプラザ) 企画・実施:NPO法人杜の伝言板ゆるる TEL:022-256-0505

みやぎのNPOに関する情報は、みやぎNPO情報ネットで! <http://www.miyagi-npo.gr.jp/>